

令和3年度版 中学校「国語」

光村の説明的文章

生徒の知的好奇心をかき立てる話題を取りそろえました。文章の比較や評価、批判的に読むことを通して、新しい時代に求められる論理的思考力を育みます。

1年

新しい視点で

ダイコンは大きな根？

稲垣栄洋（平成24年度から掲載）

ちよつと立ち止まって

桑原茂夫（昭和62年度から掲載）

言葉に立ち止まる

新「**比喩**で広がる言葉の世界

森山卓郎

「ヨットのようだ」「歩く辞書」「深い感動」……。具体例を基に、言葉の世界を豊かに広げる「**比喩**」の力に迫ります。

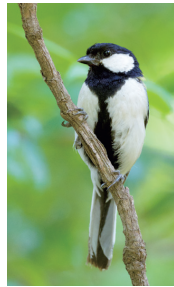


筋道を立てて

新「**言葉**」をもつ鳥、シジュウカラ

鈴木俊貴

シジュウカラの鳴き声は、彼らの「言葉」なのでしょう。事実と意見に着目して、仮説検証型の文章を読み解きます。

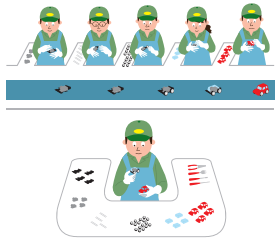


価値を見いだす

新「**不便**」の価値を

見つめ直す 川上浩司

「不便」は悪いことなのか。筆者の問いをきっかけに、対話や議論が生まれる新しい形の説明文を掲載しました。



新 読書教材（本の中の中学生・考える人になろう）

ブラインドの向こうに見える光

小林良介

パラリンピック競泳選手の姿を描くノンフィクション。多様な作品から生徒を誘い、考えさせます。

新 たのしい制約

佐藤雅彦

小さな疑問や違和感をすく上げたエッセイ集。読書を通して、考える楽しさを味わいます。



巻末資料（学習を広げる）

幻の魚は生きていた 中坊徹次

2年

多様な視点から

新 クマゼミ増加の

原因を探る 沼田英治

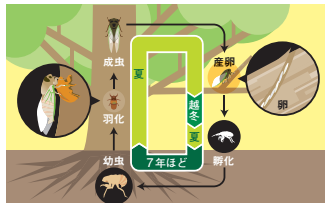
図表の読み取りと、仮説を消去法で絞り込んでいく科学的アプローチを学びます。

情報社会を生きる

新「**自分で考える時間**」を

もとう 池上彰

ニュース解説でおなじみの筆者に、情報と向き合う方法を、新たに書きおろしてもらいました。



論理を捉えて

モアイは語る

地球の未来

安田喜憲（平成14年度から掲載）

価値を語る

君は「最後の晚餐」を

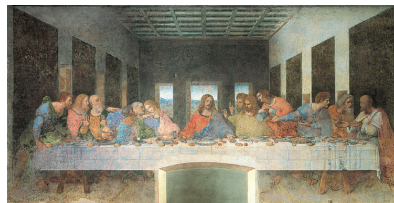
知っているか

布施英利（平成24年度から掲載）

新「**最後の晚餐**」の新しさ

藤原えりみ

「最後の晚餐」に関する評論と解説。比較すること、それぞれの文章の特性が見えてきます。



新 読書教材（研究の現場ようこそ）

日本に野生のゾウや

サイがいた頃

富田幸光（研究者） 川端裕人（取材）

新しい読書の形、「続きはウェブで」。紹介した文章の続きや、他の研究者へのインタビューを、QRコードから読み込めます。



新 クモの糸でバイオリン

大崎茂芳



巻末資料（学習を広げる）

生物が記録する科学

—— バイオロギングの可能性 佐藤克文

3年

視野を広げて

「作られた物語」を

超えて

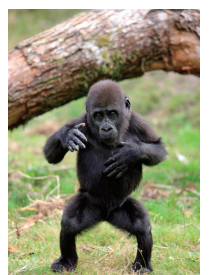
山極寿一（平成28年度から掲載）

情報社会を生きる

新 実用的な文章を読もう

新 報道文を比較して読もう

身近な実用文や、報道文の比較を通して、情報を吟味する力を養います。



自らの考えを

新 人工知能との未来

羽生善治

新 人間と人工知能と

創造性 松原仁

棋士と研究者が、各々の立場から論じた人工知能の未来。二つの論説を批判的に読み、人間や社会について考えます。

価値を生み出す

誰かの代わりに

驚田清一（平成28年度から掲載）

新 読書教材（本は世界への扉）

エルサルバドルの少女

ヘスース

長倉洋海（平成28年度から掲載）

新 紛争地の看護師

白川優子

本は多様な状況に生きる人々の姿を伝えます。国境なき医師団の看護師によるノンフィクションを新たに掲載しました。



巻末資料（学習を広げる）

二つの悲しみ 杉山龍丸

アラスカとの出会い 星野道夫

